

【報告 第3号】

## 平成25年度 事業計画について

公益社団法人霧島市シルバー人材センター定款第36条の規定に基づき、別紙のとおり報告する。

平成25年5月24日 提出

公益社団法人 霧島市シルバー人材センター  
理事長 鶴丸 明人

# 平成25年度事業計画

## I 基本方針

我が国の総人口は、平成23年10月1日現在、1億2780万人で、65歳以上の高齢者人口は2975万人となり、高齢化率は23.3%となっています。一方、鹿児島県においては、平成22年には高齢化率は25%を超え、全国平均に比べ高齢化率が10年先行して進んでいます。また、既に総人口は減少傾向に入っており、今後、労働力人口の減少と高齢化が一層進む社会を迎えています。こうした中、シルバー人材センターの果たすべき役割はますます重要になってくると思われま

す。しかしながら、シルバー人材センター事業を取り巻く社会環境は、非常に厳しい状況にあり、また、社会情勢も目まぐるしく変化し、先行きの見えない不安定な状況となっております。

このようなことから、当センターでは、平成24年度に、展望の持てるシルバー人材センターをめざして3ヶ年の中期計画を策定し、その計画に基づき事業を進めています。

超高齢化社会が進む中、私たちシルバー人材センターに求められているものは、生涯現役で社会参加、社会貢献をすることです。また、発注者からは多様なニーズに対応できるセンターが期待されています。

このようなことを念頭に置き、また応え得るため「福祉の受け手から社会の担い手」として活躍できるよう、本年度は、下記の5つの柱を立てて事業に取り組んで参ります。

## II 重点目標及び事業目標

### 会員組織関係

#### ◆重点目標

会員アンケート調査票をもとに、会員データの整理を行い、地域班については地区分けを明確化し充実を図ります。また、職群班については、会員主導の組織体制に移行し、活性化を図って参ります。一方、会員のセンターの事業運営に対する理解を深めるために、各種班長、委員等の研修を行います。

#### ◇事業目標

1. 地域班区割りを整理し、活動の活発化や、入会説明会の内容を充実させ、会員の入会促進に努めます。あわせて、市民向けにPRを行い入会促進に努めます。
2. 公平・公正な仕事の分かち合いを進め、就業率の向上を図っていくため、職群班組織の構成人員の見直しを行います。また、継続事業については、班長制度を設け機能の強化を図ります。

3. 企画提案事業、独自事業についてもグループ化を行い、センターの中核となすべき事業となるよう機能強化を行います。
4. 福祉・家事・子育ての受注を、地域で的確に対応ができる体制づくりを行います。
5. 地域班長、見積契約責任者、見積担当者、職群班長、各種委員を対象とした研修を行い、意識の高揚を図ります。
6. 有料職業紹介事業や派遣事業等に対応するため、会員の技術力向上のための講習会を行います。
7. 会員相互の連帯意識を高めるために、一日研修会、グラウンドゴルフ大会、ボランティア活動の開催や霧島国分夏祭り、初午祭へ参加します。あわせて、霧島ひまわりの会の活動を支援できるよう検討します。

## 事務局関係

### ◆重点目標

企画提案方式事業（エコファーム事業・給食配布事業）2本の充実を図りセンターの中核をなす事業になるよう展開していきます。また、新たに観光分野での参入を図ります。あわせて、これらを独自事業に結びつけていくための、計画づくりを行います。

### ◇事業目標

1. 会員の就業実態・能力・資格・希望を分析調査し、正確なデータを即座に検索できるようにし、適材適所の配置を行えるようにします。
2. 見積基準表を作成し、適正な請負事業ができる体制を整えます。併せて、各種業務のグループ化を進めます。
3. 事務局の機能的な運営を図るため見積契約責任者、見積担当者を導入しましたが、更なる充実、効率化を図るため、職員の業務をグループ化し、会員活用を進めます。
4. ホームページを作製し就業情報を公開し、公平公正な就業機会の提供を行います。
5. エコファーム事業については、独自事業と一体となったグループ化をすすめて参ります。また、自社堆肥（グリーンアミノ）のブランド化を進めるため、地域振興局が行う堆肥コンクールに応募します。また、実証を行うため会員に使用していただき、効果についてのアンケート調査を行います。
6. 給食配布事業について、6月スタートに向け会員配置などの準備を進め、国分・隼人地区を中心に普及啓発を図っていきます。
7. 企画提案事業（ふるさとよかところ案内人養成事業）を新規事業として国に提案を行います。このため、新たな職群班づくりに着手します。

## 発注者関係

### ◆重点目標

発注者に対し、シルバー人材センターの事業内容を普及啓発していくためPR活動を推進します。あわせて、受注の受け方（請負・委任・派遣）や見積の仕方等について周知していきます。

### ◇事業目標

1. 8月に普及啓発の一環として広報誌を発行し、会員・市民へ向けて情報の提供を行います。
2. 6月からスタートの給食配付や自社堆肥グリーンアミノのPRを行います。

## 就業開拓関係

### ◆重点目標

就業開拓委員会を活性化させ、職員と一体となって、会員の就業機会の確保に努めて参ります。

### ◇事業目標

1. 就業開拓委員会を設置します。
2. 職員と就業開拓委員が一体となって、事業所への就業開拓を進め、派遣事業での就業先の確保に努めます。
3. 行政機関・民間企業等への積極的な営業活動を行い、事業量を確保するとともに、地域などで発生した仕事の情報を会員自らが収集し、就業開拓を行います。
4. 指定管理者制度による公募に積極的に取り組みます。

## 安全・適正就業関係

### ◆重点目標

安全就業の徹底を図り、傷害、賠償事故0を目指します。

自主・自立・共働・共助の基本理念やセンター会員としての自覚を律するため、就業適正化委員会を設置するとともに、適正就業規約をあらゆる委員会、会議を通じて会員へ周知徹底していきます。

### ◇事業目標

1. 毎月第4木曜日を安全の日と定め、安全適正就業委員会を中心に、作業現場への安全パトロールを行い、指導の徹底を図ります。
2. 事故の要因分析と再発防止策のフォローアップを行います。
3. 安全だよりを発行し、会員の安全に対する意識を高めます。